

SSHだより



7月号 2018年7月12日(木) 豊田西高校 SS委員

夏のSSH事業

募集中



7月26日(木)
トヨタエコプラザ

募集中



8月9日(木)
段戸さららの森自然環境調査

募集中



8月22日(水)
トヨタ東富士研究所



募集中



7月25日(水)
食品工業技術センター

第29回日本数学オリンピック
日時 2019年1月14日 13:00~16:00
申し込み 6月1日~9月30日
勉強会実施中

・SSH イギリス海外研修
日時 2019年3月10日~3月18日(7泊9日)

~数学~
・統計グラフコンクール〔参加賞あり〕
・名古屋大数学アゴラ
・算数・数学の自由研究

是非来てね

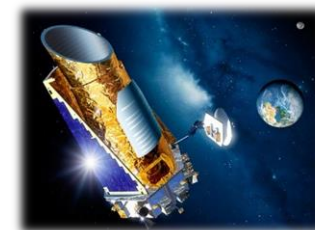


今月の科学!

宇宙という海へ迷い込んだ浦島太郎!?

小惑星探査機「はやぶさ2」が6月27日に、地球から約2億8000万キロ離れた目的地の小惑星「リュウグウ」に到着した。今後「リュウグウ」表面を詳しく観測して着陸地点を決めた後、10月頃に最初の着陸を試みる。

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2010年6月に世界で初めて小惑星の物質を地球に持ち帰ることに成功した「はやぶさ」の後継機で、2014年12月にH-IIA ロケットで打ち上げられた。推進力にはイオンエンジンを採用している。イオンエンジンは、推力はとても小さいが、効率はとても良く、約3年半かけて「リュウグウ」に到着した。新しい技術を大量に導入し、トラブル続きだった「はやぶさ」と違い、「はやぶさ2」にまだ大きなトラブルは起きていない。今後約1年半「リュウグウ」付近に滞在し、「はやぶさ2」は、搭載している衝突装置を使って「リュウグウ」表面に人工的にクレーターを作り、小惑星内部の物質の採集を目指したり、3機の探査機を「リュウグウ」に着陸させ、より詳細に「リュウグウ」を調査したりする。2019年頃に「はやぶさ2」は「リュウグウ」を出発し、2020年12月に地球に帰還する予定だ。



SSH 人生講演会

湯浅景元先生

(中京大学名誉教授)

「スポーツ科学入門

— 一体に適した運動の方法 —

7月17日(火)
13時40分~15時20分

